

仲道郁代

ベートーヴェン

“ピアノ室内楽”

全曲演奏会 Vol.6

ベートーヴェン:

4手のための3つの行進曲 Op.45 [連弾]

ヴァイオリン・ソナタ

第9番 イ長調 Op.47 《クロイツェル》

ヴァイオリン・ソナタ

第10番 ト長調 Op.96

1802年、絶望の淵から「新しい道」へ 仲道郁代と追体験するベートーヴェンの革新

作品創作の軌跡をたどりながらベートーヴェンを追体験していく仲道郁代のピアノ室内楽シリーズが、いよいよ“苦悩の年”を迎える。ピアニスト時代から作曲家人生へと歩を進めた直後に難聴を告白した「ハイリゲンシュタットの遺書」の書かれる1802年となる。しかし、この年にベートーヴェンは「新しい道」への確かな兆しを見せた。「まったく新しい流儀で作曲した2曲のピアノ変奏曲」(Op.34とOp.35)と並んでピアノ連弾用の《3つの行進曲》Op.45も生まれている。そして、同年春に作曲したヴァイオリン・ソナタ(Op.30/1)の未使用の終楽章を使って、1803年春には《クロイツェル・ソナタ》Op.47を作曲する。演奏者を意識して書かれた室内楽作品から、仲道はどんな新発見と共感を得たのだろうか。

平野 昭 (音楽学者)

2026年

8/28(金)

19:00開演(18:30開場)

ヤマハホール

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14
ヤマハ銀座ビル本館7階

全席指定 8,000円(税込)



公演情報 &
WEB申込みは
こちら



百瀬功汰
(ピアノ)



岡本誠司
(ヴァイオリン)

© Yuji Ueno

2/21(土) 前売開始 ジャパン・アーツ
びあオンラインチケット 2/14(土)

お申込み

ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212
www.japanarts.co.jp

ヤマハ銀座インフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)
チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 317-756]
イープラス eplus.jp
ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 38077]

主催 ジャパン・アーツ/ヤマハ株式会社

協賛 ハウス食品グループ

協力 ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

仲道郁代 ベートーヴェン“ピアノ室内楽”全曲演奏会

仲道郁代は、日本で最も求められ続けているピアニストの一人として、長年にわたり第一線で活躍してきました。その音楽の核には、つねにベートーヴェンがあります。これまでに6度にわたるピアノ・ソナタ全曲チクルスを実施し、そのたびに新たな視点と深化をもって作品に向き合ってきました。現在ソナタの全曲演奏会は横浜みなとみらいホールと京都コンサートホールで行われており、多角的なベートーヴェン研究の成果によって仲道ならではのベートーヴェン演奏へと結実しています。協奏曲においてもベートーヴェンは仲道の最も重要なレパートリーとして全国各地で繰り返し演奏されています。

仲道は、モダンピアノのピアニストでありながらフォルテピアノにも深い造詣を持つことでも知られています。シュタイン、ブロードウッド等、ベートーヴェン時代の楽器を所有し研究を重ねてきたことが、モダンピアノによる演奏にも独自の奥行きと説得力を与えてきました。2026年から新たに開始されるフォルテピアノによるソナタシリーズ(武蔵野市民文化会館)は発売開始直後に完売となり、仲道のベートーヴェン探求に寄せられる関心の高さを物語っています。

近年の仲道の活動の中で特に重要視される「The Road to 2027 リサイタル・シリーズ」では、ベートーヴェンのソナタがシリーズの核に据えられ、ベートーヴェンを通して音楽が哲学的に探求されることで、仲道にしか成し得ない唯一無二の高い演奏の充実を生み出してきました。

ベートーヴェン弾き仲道が新たに開拓を始めたのが、ソナタ、協奏曲に加え、もうひとつの重要な領域である室内楽でした。ベートーヴェンのピアノを含む室内楽の全曲を網羅する本シリーズは、その意欲的な挑戦に音楽ファンから大きな注目が寄せられています。

Vol. 1からVol. 5(2022年~2024年)では主に初期の作品が取り上げられ、共演者との綿密なリハーサルを重ねて創作意欲と自信に溢れた若きベートーヴェンの姿を描き出し、大好評を博しました。Vol. 6(本公演)からはいよいよ中期・後期の作品へと進みます。円熟へと向かうベートーヴェンの室内楽が、どのように解き明かされていくのか。どうぞご期待ください。

次回公演

仲道郁代 ベートーヴェン“ピアノ室内楽”全曲演奏会 Vol. 7

2027年夏予定 ヤマハホール

ベートーヴェン:チェロ・ソナタ第3番、第4番、第5番ほか

仲道郁代
公式HP



Official
YouTube Channel



岡本誠司

第19回J.S.バッハ国際コンクールヴァイオリン部門にてアジア人で初優勝。2019年エリザベート王妃国際音楽コンクールファイナリスト、2021年ARDミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞などの実力派。現在ドイツを拠点に精力的な演奏活動と後進の指導にも当たる一方、Japan National Orchestraのコンサートマスターを務めている。これまでにベルリン・コンツェルトハウス管、MDR響、ドイツ・カンマーフィル、N響、読売日響、東響、東京フィルなど多数共演。2022年文化庁長官より表彰。第31回出光音楽賞受賞。ヴァイオリンはNPO法人イエロー・エンジェルよりM.ゴフリアー(1702年製)の貸与を、日本ヴァイオリンソサエティよりF.ガリアーノ(1777年製)の貸与を受けている。

公式サイト <https://seijikamoto.net/>



百瀬功汰

桐朋学園大学大学院修士課程修了。ソロや室内楽のコンクールにおいて優勝、入賞。堤剛、景山誠治、景山裕子、仲道郁代、青柳いつみこの各氏と共演。桐朋学園大学音楽学部弦楽器嘱託演奏員。サントリーホール室内楽アカデミー第8期フェロー。

【特別割引チケット】 ジャパン・アーツぴあ で受付

0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

● シニア料金 65歳以上の方はシニア料金(7200円)でお求めいただけます。

● 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。

必ず事前に御予約ください。(ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付)

【次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい】①やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等に十分ご注意ください。③開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕を持ってお越し下さい。④ご入場には一人1枚チケットが必要です。また、未就学児の入場はご遠慮ください。⑤本公演はすべて指定席です。お持ちのチケット以外の座席ではご鑑賞いただけません。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧お席によっては舞台が見切れる場合がございます。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。⑩当公演では、携帯電話等の電源を入れたままでは客席内にご入場いただけません。Twitterでフォローする @japan_arts



心が躍る、豊かな味わい。

美しい音楽は、人の心を動かし、人生を豊かにしてくれる。私たちハウス食品グループは、心が躍る音楽のように、食を通じて、笑顔あふれる暮らしを届けたい。人と笑顔をつなぐ、皆さまのグッドパートナーを目指して。

食でつなぐ、人と笑顔を。

House ハウス食品グループ

仲道郁代の名盤 @RCA RED SEAL

Sony Music Japan International



最新録音

ザ・ラスト・モーツァルト



仲道郁代と井上道義——最後の共演となった唯一無二のモーツァルト。

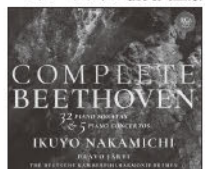
モーツァルト:
ピアノ協奏曲
第20番 二短調 K.466 /
第23番 イ長調 K.488

〔演奏〕 仲道郁代(ピアノ)、
井上道義(指揮)
アンサンブル・アマデオ

定価 ¥3,630(税抜価格 ¥3,300)
ハイブリッド・ディスク ● SICC 19086

17枚組 | 完全生産限定

仲道郁代ベートーヴェン集成
~ピアノ・ソナタ&協奏曲全集



仲道郁代が辿る、深遠かつ多様なベートーヴェンの音世界。

定価 ¥19,800(税抜価格 ¥18,000)
12CD+3ハイブリッドディスク+2DVD
● SICC 39032-48



CFX
Yamaha Concert Grand Piano

私と、響き合う。

YAMAHA
Make Waves

ヤマハ株式会社